

注3

大学番号：公029

[平成21年度設置]

計画の区分：大学院の設置

注1

認可

石川県立大学 大学院 生物資源環境学研究所

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

石川県

平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 シュカン 主幹 ウエノマサヒロ 上野正博

電話番号 076-227-7404

（夜間） 076-227-7220

F A X 076-227-2410

e-mail mas-ueno@ishikawa-pu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

「意見伺い」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

[平成21年度設置]

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況、経費	12
4	既設大学等の状況	13
5	教員組織の状況	14
6	留意事項に対する履行状況等	28
7	その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

石川県公立大学法人

(2) 大学名

石川県立大学

(3) 大学の位置

〒921-8836

石川県石川郡野々市町末松1丁目308番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	—	(テラニシモリオ) 寺西盛雄 (H23. 4. 1)	平成23年4月1日 公立大学法人設立 (23)
学長	(マルヤマトシスケ) 丸山利輔 (H21. 4. 1)	(マツノリュウイチ) 松野隆一 (H21. 4. 1)	平成21年4月1日 学長任期満了による交代 (21)
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成21年度開設の博士後期課程の場合(平成23年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	收容定員	
生物資源環境学研究科 自然人間共生科学専攻 (博士後期課程)	3年	4人	12人	基礎となる学部等
生物機能開発科学専攻 (博士後期課程) 博士(生物資源環境学)	3	4	12	生物資源環境学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成21年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	8 (若干名) [若干名]	人 人	8 (若干名) [若干名]	人 人	8 (若干名) [若干名]	人 人	0.54倍	
志願者数	8 (8) [-]	- (-) [-]	0 (0) [-]	- (-) [-]	6 (2) [3]	- (-) [-]		
受験者数	8 (8) [-]	- (-) [-]	0 (0) [-]	- (-) [-]	6 (2) [3]	- (-) [-]		
合格者数	8 (8) [-]	- (-) [-]	0 (0) [-]	- (-) [-]	6 (2) [3]	- (-) [-]		
B 入学者数	8 (8) [-]	- (-) [-]	0 (0) [-]	- (-) [-]	5 (1) [3]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.00		0.00		0.62			

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 8	[-] -	[-] 0	[-] -	[3] 5	[-] -	
2年次	/		[-] 8	[-] -	[-] 0	[-] -	
3年次	/		/		[-] 8	[-] -	
計	[] 8		[] 8		[3] 13	[]	

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [-] 0人	(累積)計 [-] 8人	0%
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 8人	
	(主な退学理由)		
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [-] 0人	(累積)計 [-] 8人	0%
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 8人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 0人	
	(主な退学理由)		
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [-] 0人	(累積)計 [3] 13人	0%
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 8人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 0人	
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 5人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2-1 授業科目の概要

<生物資源環境学研究所 自然人間共生科学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専攻専門科目	自然人間共生科学演習 I	1~3		6		6	6 4	3	2 3 4		退職した教員の補充 (23) 〔担当 坂本知昭 (准教授) 平成23年1月教員審査済 判定 可 (23) 昇格 (23) 〔担当 片山礼子 (准教授) 平成23年1月教員審査済 判定 可 (23) 退職した教員の補充 (23) 〔担当 高居恵愛 (講師) 平成22年7月教員審査済 判定 可 (23) 教員の退職 (准教授) (22) 後任平成22年7月 提出予定 昇格 (22) 〔担当 大角雅晴 (准教授) 平成22年1月教員審査済 判定 可 (22) 就任辞退者の補充 (22) 〔担当 高原浩之 (講師) 平成22年1月教員審査済 判定 可 (22) 吉本助教就任辞退 (21) 後任未定 昇格 (22) 〔担当 田中栄爾 (准教授) 平成22年1月教員審査済 判定 可 (22) 〔担当 坂田寧代 (准教授) 平成22年1月教員審査済 判定 可 (22) 教育課程の充実を図るため、教員を追加 (21) 〔担当 柳井清治 平成21年1月教員審査済 判定 可 (21)
	自然人間共生科学演習 II	1~3		6		10 9	5 3	1	1 3		昇格 (22) 〔担当 田中栄爾 (准教授) 平成22年1月教員審査済 判定 可 (22) 〔担当 坂田寧代 (准教授) 平成22年1月教員審査済 判定 可 (22) 教育課程の充実を図るため、教員を追加 (21) 〔担当 柳井清治 平成21年1月教員審査済 判定 可 (21)
	自然人間共生科学課題研究 (研究指導)	1~3	10			16 15	11 9 7				退職した教員の補充 〔担当 坂本知昭 (准教授) 平成23年1月教員審査済 判定 可 (23) 昇格 (23) 〔担当 片山礼子 (准教授) 平成23年1月教員審査済 判定 可 (23) 教員の退職 (准教授) (22) 後任平成22年7月 提出予定 昇格 (22) 〔担当 大角雅晴 (准教授) 平成22年1月教員審査済 判定 可 (22) 教育課程の充実を図るため、教員を追加 (22)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
												<p>担当 田中栄爾 (准教授) 平成22年1月教員審査済 判定 合 (22)</p> <p>担当 坂田寧代 (准教授) 平成22年1月教員審査済 判定 合 (22)</p> <p>教育課程の充実を図るため、教員を追加 (21)</p> <p>担当 柳井清治 平成21年1月教員審査済 判定 合 (21)</p>
博士前期課程 研究科共通科目	科学技術史	1前			1							
	科学技術倫理	1前			1							
	生物資源環境学特論 I	1前			2	6	4 6	3	1			<p>退職した教員の補充 (23)</p> <p>担当 坂本知昭 (准教授) 平成23年1月教員審査済 判定 可 (23)</p> <p>昇格 (23)</p> <p>担当 片山礼子 (准教授) 平成23年1月教員審査済 判定 可 (23)</p> <p>教育課程の充実を図るため、教員を追加 (23)</p> <p>担当 高居恵愛 (講師) 平成22年7月教員審査済 判定 可 (23)</p> <p>教員の退職 (准教授) (22) 後任平成22年7月 提出予定 教育課程の充実を図るため、教員を追加 (22)</p> <p>担当 高原浩之 (講師) 平成22年1月教員審査済 判定 可 (22)</p> <p>昇格 (22)</p> <p>担当 大角雅晴 (准教授) 平成22年1月教員審査済 判定 可 (22)</p> <p>昇格 (22)</p>
	生物資源環境学特論 II	1後			2	9 8	5 3		0 2			<p>担当 田中栄爾 (准教授) 平成22年1月教員審査済 判定 可 (22)</p> <p>担当 坂田寧代 (准教授) 平成22年1月教員審査済 判定 可 (22)</p> <p>教育課程の充実を図るため、教員を追加 (21)</p> <p>担当 柳井清治 平成21年1月教員審査済 判定 可 (21)</p>
	生物資源環境学特論 III	1前			2							
	生物資源環境学特論 IV	1後			2	1		1				
	生物資源環境地域ビジネス論 I	2前			1	1						
	生物資源環境地域ビジネス論 II	2前			1	1						
	生産科学専攻M専門科目											
	生産科学特別講義 I	2前			1	3	3 2					<p>退職した教員の補充</p> <p>担当 坂本知昭 (准教授) 平成23年1月教員審査済 判定 可 (23)</p> <p>昇格 (23)</p> <p>担当 片山礼子 (准教授) 平成23年1月教員審査済 判定 可 (23)</p> <p>教員の退職 (22)</p>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
博士前期課程専攻専門講義科目	生産科学特別講義Ⅱ	2前			1	3	2 +	0 +			後任平成22年7月 提出予定 昇格(22) 〔担当 大角雅晴(准教授) 平成22年1月教員審査済 判定可(22)〕
	植物分子機能学特論	1前			2	2	1	0	1 0		教育課程の充実を図るため、教員を追加(22) 〔担当 高原浩之(講師) 平成22年1月教員審査済 判定可(22)〕
	植物生産機能調節論	1後			2	1	2 -0 +	1 -			退職した教員の補充 〔担当 坂本知昭(准教授) 平成23年1月教員審査済 判定可(23)〕 昇格(23) 〔担当 片山礼子(准教授) 平成23年1月教員審査済 判定可(23)〕 教員の退職(22) 後任平成22年7月 提出予定
	動物資源特論	1前			2	1	1			1	
	資源管理特論	1後			2	2	1 0 +	0 +			昇格(22) 〔担当 大角雅晴(准教授) 平成22年1月教員審査済 判定可(22)〕
	環境科学専攻M専門科目										
	環境科学特別講義Ⅰ	2前			1	4	2 +			0 +	昇格(22) 〔担当 田中栄爾(准教授) 平成22年1月教員審査済 判定可(22)〕
	環境科学特別講義Ⅱ	2前			1	5	3 2			0 +	昇格(22) 〔担当 坂田寧代(准教授) 平成22年1月教員審査済 判定可(22)〕
	環境分析学特論	1前			2	2	1				
	生物環境保全学特論	1後			2	2	1 0 +			0 +	昇格(22) 〔担当 田中栄爾(准教授) 平成22年1月教員審査済 判定可(22)〕
	生産環境管理学特論	1前			2	2	2 +			0 +	昇格(22) 〔担当 坂田寧代(准教授) 平成22年1月教員審査済 判定可(22)〕
	地域環境システム学特論	1後			2	4 3	1				教育課程の充実を図るため、教員を追加(21) 〔担当 柳井清治 平成21年1月教員審査済 判定可(21)〕
	食品科学専攻M専門科目										
	食品科学特別講義Ⅰ	2前			1						
	食品科学特別講義Ⅱ	2前			1						
	生体分子機能学特論	1前			2						
	食品製造学特論	1後			2						
	食品機能学特論	1前			2						
	食品安全学特論	1後			2						
	応用生命科学専攻M専門科目										
応用生命科学特別講義Ⅰ	2前			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	応用生命科学特別講義Ⅱ	2前			1	1		1			
	植物遺伝子機能学特論	1前			2						
	植物細胞育種学特論	1後			2						
	応用微生物学特論	1前			2						
	環境生物システム学特論	1後			2	1		1			

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
1	2	32	35	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

2-2 授業科目の概要

<生物資源環境学研究所 生物機能開発科学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専攻専門科目	生物機能開発科学演習Ⅰ	1～3通		6		7	6		1 0		教育課程の充実を図るため、教員を追加(21) 〔担当 小柳 喬(助教) 平成20年12月教員審査済 判定 可 (21)〕
	生物機能開発科学演習Ⅱ	1～3通		6		3	5		2		
	生物機能開発科学課題研究(研究指導)	1～3通	10			10	11				
博士前期課程 研究科共通科目	科学技術史	1前			1						
	科学技術倫理	1前			1						
	生物資源環境学特論Ⅰ	1前			2						
	生物資源環境学特論Ⅱ	1後			2						
	生物資源環境学特論Ⅲ	1前			2	7	6				
	生物資源環境学特論Ⅳ	1後			2	3	5				
	生物資源環境地域ビジネス論Ⅰ	2前			1	1					
	生物資源環境地域ビジネス論Ⅱ	2前			1	2					
博士前期課程 専攻専門 講義科目	生産科学専攻M専門科目										
	生産科学特別講義Ⅰ	2前			1						
	生産科学特別講義Ⅱ	2前			1						
	植物分子機能学特論	1前			2						
	植物生産機能調節論	1後			2						
	動物資源特論	1前			2						
	資源管理特論	1後			2						
	環境科学専攻M専門科目										
	環境科学特別講義Ⅰ	2前			1						
	環境科学特別講義Ⅱ	2前			1						
	環境分析学特論	1前			2						
	生物環境保全学特論	1後			2						
	生産環境管理学特論	1前			2						
	地域環境システム学特論	1後			2						
	食品科学専攻M専門科目										
	食品科学特別講義Ⅰ	2前			1	4	2				
	食品科学特別講義Ⅱ	2前			1	3	4				
	生体分子機能学特論	1前			2	2	1				
	食品製造学特論	1後			2	2	1				
	食品機能学特論	1前			2		3				
食品安全学特論	1後			2	1	1					
応用生命科学専攻M専門科目											
応用生命科学特別講義Ⅰ	2前			1	2	4					
応用生命科学特別講義Ⅱ	2前			1	1	1					
植物遺伝子機能学特論	1前			2	1	2					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	植物細胞育種学特論	1後			2	1	2				
	応用微生物学特論	1前			2	1	1				
	環境生物システム学特論	1後			2						

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 1	科目 2	科目 32	科目 35	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	石川県立大学と共用			
	校舎敷地	0㎡	42,939㎡	0㎡	42,939㎡				
	運動場用地	0㎡	12,502㎡	0㎡	12,502㎡				
	小 計	0㎡	55,441㎡	0㎡	55,441㎡				
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡				
	合 計	0㎡	55,441㎡	0㎡	55,441㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	石川県立大学と共用				
	1,915㎡ (1,915㎡)	5,862㎡ (5,862㎡)	16,635㎡ (16,635㎡)	24,412㎡ (24,412㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	12室	10室	100室	7室 (補助職0.5人)	1室 (補助職0.5人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			申請研究科全体			
	生物資源環境学研究科		57 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体での共用分 学術雑誌 1,000種 [200種]	
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕					
	生物資源環境学 研究科	59,976 [5,901] (56,976 [5,701])	3,958 [494] (2,958 [294])	3 [3] (3 [3])	568 (568)	7,470 (6,099)	20 (6)		
	計	59,976 [5,901] (56,976 [5,701])	3,958 [494] (2,958 [294])	3 [3] (3 [3])	568 (568)	7470 (6,099)	20 (6)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	1,149㎡		82席		120,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体		
	924㎡		テニスコート2面		運動場1面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	1,300千円	1,300千円	図書購入費	1,700千円	17,000千円	17,000千円	
	共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	154,000千円	154,000千円	0千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		536千円	536千円	536千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		収入および石川県からの交付金を充当する。							

- (注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	石川県立看護大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地		
看護学部看護学科	年 4	人 80	年次 人 10	人 340	看護学 士	倍 1.03	H12	石川県かほく市 学園台1丁目1番地		
大学の名称	石川県立大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地		
生物資源環境学部 生産科学科 環境科学科 食品科学科	年 4 4 4	人 40 40 40	年次 人 0 0 0	人 160 160 160	学士 学士 学士	倍 1.11 1.11 1.14	H17 H17 H17	石川県石川郡 野々市町末松1 丁目308番地		

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5-1 教員組織の状況

<生物資源環境学研究科 自然人間共生科学専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	古賀博則 (57)	平成21年4月	自然人間共生科学演習 I 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 生産科学特別講義 I 植物分子機能学特論 生物資源環境学特論 I						
専	教授	鈴木正一 (58)	平成21年4月	自然人間共生科学演習 I 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 生産科学特別講義 I 植物分子機能学特論 生物資源環境学特論 I						
専	教授	加納恭卓 (61)	平成21年4月	自然人間共生科学演習 I 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 生産科学特別講義 I 植物生産機能調節論 生物資源環境学特論 I						
専	教授	石田元彦 (56)	平成21年4月	自然人間共生科学演習 I 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 生産科学特別講義 II 動物資源特論 生物資源環境学特論 I						
専	教授	辻井 博 (67)	平成21年4月	自然人間共生科学演習 I 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 生産科学特別講義 II 資源管理特論 生物資源環境学特論 I 生物資源環境地域ビジネス論 I						
専	教授	小林雅裕 (57)	平成21年4月	自然人間共生科学演習 I 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 生産科学特別講義 II 資源管理特論 生物資源環境学特論 I						
専	准教授	関根政実 (48)	平成21年4月	自然人間共生科学演習 I 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 生産科学特別講義 I 植物分子機能学特論						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
				生物資源環境学特論 I						
専	准教授	中川博視 (46)	平成21年4月	自然人間共生科学演習 I 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 生産科学特別講義 I 植物生産機能調節論 生物資源環境学特論 I	専	准教授	坂本知昭 (38)	平成23年4月	自然人間共生科学演習 I 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 生産科学特別講義 I 植物生産機能調節論 生物資源環境学特論 I	平成23年4月 退職教員の補充(23) 平成23年1月教員審査済 平成22年3月 中川博視准教授辞任(22) 「後任未定」専任教員採用予定で公募中 各授業科目とも、他に担当教員が3~14名いるため支障はない。
専	准教授	福岡信之 (48)	平成21年4月	自然人間共生科学演習 I 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 生物資源環境学特論 I						
専	准教授	宇佐川智也 (60)	平成21年4月	自然人間共生科学演習 I 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 生産科学特別講義 II 動物資源特論 生物資源環境学特論 I						
専	講師	塚口直史 (39)	平成21年4月	自然人間共生科学演習 I 植物生産機能調節論 生物資源環境学特論 I						
専	講師	池上礼子 (33)	平成21年4月	自然人間共生科学演習 I 植物生産機能調節論 生物資源環境学特論 I	専	准教授	片山礼子 (池上礼子) (36)	平成23年4月	自然人間共生科学演習 I 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 生産科学特別講義 I 植物生産機能調節論 生物資源環境学特論 I	平成23年4月 昇任(23) 平成23年1月教員審査済
専	講師	大角雅晴 (48)	平成21年4月	自然人間共生科学演習 I 生産科学特別講義 II 資源管理特論 生物資源環境学特論 I	専	准教授	大角雅晴 (49)	平成22年4月	自然人間共生科学演習 I 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 生産科学特別講義 II 資源管理特論 生物資源環境学特論 I	平成22年4月 昇任(22) 平成22年1月教員審査済
専	助教	吉本玲子 (55)	平成21年4月	自然人間共生科学演習 I	専	講師	高原浩之 (34)	平成22年4月	自然人間共生科学演習 I	平成22年4月から(22) 平成22年1月教員審査済 就任辞任(21)
					専	講師	高原浩之 (34)	平成22年4月	植物分子機能学特論 生物資源環境学特論 I	平成22年4月から 教育課程の充実を図るため 教員を追加(22) 平成22年1月教員審査済
専	助教	近藤謙介 (35)	平成21年4月	自然人間共生科学演習 I	専	講師	高居恵愛 (47)	平成22年10月	自然人間共生科学演習 I	平成21年9月 近藤謙介助教辞任(22)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
										平成22年7月 変更書提出予定
専	助教	榊田星史 (54)	平成21年4月	自然人間共生科学演習Ⅰ 動物資源特論 生物資源環境学特論Ⅰ						
専	助教	上野糧正 (52)	平成21年4月	自然人間共生科学演習Ⅰ						
専	教授	高橋 強 (67)	平成21年4月	自然人間共生科学演習Ⅱ 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 環境科学特別講義Ⅱ 地域環境システム学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						
専	教授	米林甲陽 (67)	平成21年4月	自然人間共生科学演習Ⅱ 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 環境科学特別講義Ⅰ 環境分析学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						
専	教授	早瀬吉雄 (62)	平成21年4月	自然人間共生科学演習Ⅱ 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 環境科学特別講義Ⅰ 環境科学特別講義Ⅱ 環境分析学特論 地域環境システム学特論 生物資源環境学特論Ⅱ 生物資源環境地域ビジネス論Ⅱ						
専	教授	菊沢喜八郎 (67)	平成21年4月	自然人間共生科学演習Ⅱ 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 環境科学特別講義Ⅰ 生物環境保全学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						
専	教授	上田哲行 (59)	平成21年4月	自然人間共生科学演習Ⅱ 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 環境科学特別講義Ⅰ 生物環境保全学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						
専	教授	村島和男 (62)	平成21年4月	自然人間共生科学演習Ⅱ 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 環境科学特別講義Ⅱ 生産環境管理学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	青山威康 (65)	平成21年4月	自然人間共生科学演習Ⅱ 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 環境科学特別講義Ⅱ 生産環境管理学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						
専	教授	北村邦彦 (62)	平成21年4月	自然人間共生科学演習Ⅱ 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 環境科学特別講義Ⅱ 地域環境システム学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						
					専	教授	柳井清治 (52)	平成22年4月	自然人間共生科学演習Ⅱ 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 地域環境システム学特論 生物資源環境学特論Ⅱ	平成22年4月から 〔教育課程の充実を図るため担当教員を追加(21) 平成21年1月教員審査済
専	准教授	皆已幸也 (43)	平成21年4月	自然人間共生科学演習Ⅱ 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 環境科学特別講義Ⅰ 環境分析学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						
専	准教授	瀧本裕士 (40)	平成21年4月	自然人間共生科学演習Ⅱ 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 環境科学特別講義Ⅱ 生産環境管理学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						
専	准教授	一恩英二 (47)	平成21年4月	自然人間共生科学演習Ⅱ 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 環境科学特別講義Ⅱ 地域環境システム学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						
専	助教	田中英爾 (36)	平成21年4月	自然人間共生科学演習Ⅱ 環境科学特別講義Ⅰ 生物環境保全学特論 生物資源環境学特論Ⅱ	専	准教授	田中英爾 (37)	平成22年4月	自然人間共生科学演習Ⅱ 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 環境科学特別講義Ⅰ 生物環境保全学特論 生物資源環境学特論Ⅱ	平成22年4月 昇任(22) 平成22年1月教員審査済
専	助教	坂田寧代 (34)	平成21年4月	自然人間共生科学演習Ⅱ 環境科学特別講義Ⅱ 生産環境管理学特論 生物資源環境学特論Ⅱ	専	准教授	坂田寧代 (35)	平成22年4月	自然人間共生科学演習Ⅱ 自然人間共生科学課題研究(研究指導) 環境科学特別講義Ⅱ 生産環境管理学特論 生物資源環境学特論Ⅱ	平成22年4月 昇任(22) 平成22年1月教員審査済
専	教授	高月 紘	平成21年4月	自然人間共生科学演習Ⅱ						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
		(67)		自然人間共生科学課題研究(研究指導) 応用生命科学特別講義Ⅱ 環境生物システム学特論 生物資源環境学特論Ⅳ						
専	講師	田知本正夫 (57)	平成21年4月	自然人間共生科学演習Ⅱ 応用生命科学特別講義Ⅱ 環境生物システム学特論 生物資源環境学特論Ⅳ						
専	助教	楠部孝誠 (37)	平成21年4月	自然人間共生科学演習Ⅱ						
兼任	教授	田野信博 (64)	平成21年4月	環境科学特別講義Ⅱ 地域環境システム学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						
兼任	教授	宮脇長人 (63)	平成21年4月	食品科学特別講義Ⅰ 生物資源環境学特論Ⅲ						
兼任	教授	後藤秀幸 (58)	平成21年4月	食品科学特別講義Ⅰ 生体分子機能学特論 生物資源環境学特論Ⅲ						
兼任	教授	石田信昭 (57)	平成21年4月	食品科学特別講義Ⅰ 生体分子機能学特論 食品製造学特論 生物資源環境学特論Ⅲ						
兼任	教授	野口明德 (62)	平成21年4月	食品科学特別講義Ⅰ 食品製造学特論 生物資源環境学特論Ⅲ 生物資源環境地域ビジネス論Ⅱ						
兼任	教授	榎本俊樹 (50)	平成21年4月	食品科学特別講義Ⅱ 生物資源環境学特論Ⅲ						
兼任	教授	矢野俊博 (60)	平成21年4月	食品科学特別講義Ⅱ 食品安全学特論 生物資源環境学特論Ⅲ						
兼任	教授	鈴木隆元 (65)	平成21年4月	食品科学特別講義Ⅱ 生物資源環境学特論Ⅲ 生物資源環境地域ビジネス論Ⅰ 生物資源環境地域ビジネス論Ⅱ						
兼任	准教授	海老原 充 (45)	平成21年4月	生体分子機能学特論 生物資源環境学特論Ⅲ						
兼任	准教授	島 元啓 (38)	平成22年4月	食品科学特別講義Ⅰ 食品製造学特論 生物資源環境学特論Ⅲ	兼任	准教授	島 元啓 (38)	平成21年4月	食品科学特別講義Ⅰ 食品製造学特論 生物資源環境学特論Ⅲ	平成21年3月 松野教授学長就任による就任辞退のため就任時期を変更(21)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	本多裕司 (36)	平成21年4月	食品科学特別講義Ⅰ 食品科学特別講義Ⅱ 食品機能学特論 生物資源環境学特論Ⅲ						
兼任	准教授	吉城由美子 (46)	平成21年4月	食品科学特別講義Ⅱ 食品機能学特論 生物資源環境学特論Ⅲ						
兼任	准教授	松本健司 (38)	平成22年4月	食品科学特別講義Ⅱ 食品機能学特論 生物資源環境学特論Ⅲ						
兼任	准教授	小西康子 (55)	平成21年4月	食品科学特別講義Ⅱ 食品安全学特論 生物資源環境学特論Ⅲ						
兼任	教授	松野隆一 (69)	平成21年4月	食品科学特別講義Ⅰ 食品製造学特論 生物資源環境学特論Ⅲ						就任辞退 〔専任 島 元啓准教授の就任時期を早めたため支障はない(21)〕
兼任	教授	谷口 肇 (69)	平成21年4月	食品科学特別講義Ⅱ 食品機能学特論 生物資源環境学特論Ⅲ						
兼任	教授	熊谷英彦 (68)	平成21年4月	応用生命科学特別講義Ⅱ 応用微生物学特論 生物資源環境学特論Ⅳ						
兼任	教授	三沢典彦 (51)	平成22年4月	応用生命科学特別講義Ⅰ 植物遺伝子機能学特論 生物資源環境学特論Ⅳ						
兼任	教授	西澤直子 (63)	平成21年4月	応用生命科学特別講義Ⅰ 植物細胞育種学特論 生物資源環境学特論Ⅳ						
兼任	准教授	森 正之 (43)	平成21年4月	応用生命科学特別講義Ⅰ 植物遺伝子機能学特論 生物資源環境学特論Ⅳ						
兼任	准教授	竹村美保 (42)	平成21年4月	応用生命科学特別講義Ⅰ 植物遺伝子機能学特論 生物資源環境学特論Ⅳ						
兼任	准教授	大谷基泰 (48)	平成21年4月	応用生命科学特別講義Ⅰ 植物細胞育種学特論 生物資源環境学特論Ⅳ						
兼任	准教授	濱田達朗 (38)	平成21年4月	応用生命科学特別講義Ⅰ 植物細胞育種学特論 生物資源環境学特論Ⅳ						

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	准教授	片山高嶺 (38)	平成21年4月	応用生命科学特別講義Ⅱ 応用微生物学特論 生物資源環境学特論Ⅳ						
兼任	教授	大山莞爾 (69)	平成21年4月	応用生命科学特別講義Ⅰ 植物遺伝子機能学特論 生物資源環境学特論Ⅳ						
兼任	講師	田中一郎 (62)	平成21年4月	科学技術史 科学技術倫理						

(注)・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「**認可時の計画**」には**開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)**を、「**変更状況**」には**平成23年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- ・なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
- ・専任教員を変更する場合は、当該専門教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
20	2	22		23		27		
(21)	(2)	(23)	()	-2+	4	-25		
				[3]	[2]	[5]	[]	

(注)・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

5-2 教員組織の状況

<生物資源環境学研究科 生物機能開発科学専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	宮脇長人 (63)	平成21年4月	生物機能開発科学演習Ⅰ 生物機能開発科学課題研究(研究指導) 食品科学特別講義Ⅰ 生物資源環境学特論Ⅲ						
専	教授	後藤秀幸 (58)	平成21年4月	生物機能開発科学演習Ⅰ 生物機能開発科学課題研究(研究指導) 食品科学特別講義Ⅰ 生体分子機能学特論 生物資源環境学特論Ⅲ						
専	教授	石田信昭 (57)	平成21年4月	生物機能開発科学演習Ⅰ 生物機能開発科学課題研究(研究指導) 食品科学特別講義Ⅰ 生体分子機能学特論 食品製造学特論 生物資源環境学特論Ⅲ						
専	教授	野口明德 (62)	平成21年4月	生物機能開発科学演習Ⅰ 生物機能開発科学課題研究(研究指導) 食品科学特別講義Ⅰ 食品製造学特論 生物資源環境学特論Ⅲ 生物資源環境地域ビジネス論Ⅱ						
専	教授	榎本俊樹 (50)	平成21年4月	生物機能開発科学演習Ⅰ 生物機能開発科学課題研究(研究指導) 食品科学特別講義Ⅱ 生物資源環境学特論Ⅲ						
専	教授	矢野俊博 (60)	平成21年4月	生物機能開発科学演習Ⅰ 生物機能開発科学課題研究(研究指導) 食品科学特別講義Ⅱ 食品安全学特論 生物資源環境学特論Ⅲ						
専	教授	鈴木隆元 (65)	平成21年4月	生物機能開発科学演習Ⅰ 生物機能開発科学課題研究(研究指導) 食品科学特別講義Ⅱ 生物資源環境学特論Ⅲ 生物資源環境地域ビジネス論Ⅰ						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
				生物資源環境地域ビジネス論Ⅱ						
専	准教授	海老原 充 (45)	平成21年4月	生物機能開発科学演習Ⅰ 生物機能開発科学課題研究(研究指導) 生体分子機能学特論 生物資源環境学特論Ⅲ						
専	准教授	島 元啓 (38)	平成22年4月	生物機能開発科学演習Ⅰ 生物機能開発科学課題研究(研究指導) 食品科学特別講義Ⅰ 食品製造学特論 生物資源環境学特論Ⅲ	専	准教授	島 元啓 (38)	平成21年4月	生物機能開発科学演習Ⅰ 生物機能開発科学課題研究(研究指導) 食品科学特別講義Ⅰ 食品製造学特論 生物資源環境学特論Ⅲ	平成21年3月 〔松野隆一教授就任辞退による就任時期の変更(21)〕
専	准教授	本多裕司 (36)	平成21年4月	生物機能開発科学演習Ⅰ 生物機能開発科学課題研究(研究指導) 食品科学特別講義Ⅰ 食品科学特別講義Ⅱ 食品機能学特論 生物資源環境学特論Ⅲ						
専	准教授	吉城由美子 (46)	平成21年4月	生物機能開発科学演習Ⅰ 生物機能開発科学課題研究(研究指導) 食品科学特別講義Ⅱ 食品機能学特論 生物資源環境学特論Ⅲ						
専	准教授	松本健司 (38)	平成22年4月	生物機能開発科学演習Ⅰ 生物機能開発科学課題研究(研究指導) 食品科学特別講義Ⅱ 食品機能学特論 生物資源環境学特論Ⅲ						
専	准教授	小西康子 (55)	平成21年4月	生物機能開発科学演習Ⅰ 生物機能開発科学課題研究(研究指導) 食品科学特別講義Ⅱ 食品安全学特論 生物資源環境学特論Ⅲ						
					専	助教	小柳 喬 (31)	平成21年4月	生物機能開発科学演習Ⅰ	平成21年4月から 〔教育課程の充実を図るため担当教員を追加(21)平成21年1月教員審査済〕
専	教授	三沢典彦 (51)	平成22年4月	生物機能開発科学演習Ⅱ 生物機能開発科学課題研究(研究指導) 応用生命科学特別講義Ⅰ 植物遺伝子機能学特論 生物資源環境学特論Ⅳ						
専	教授	西澤直子	平成21年4月	生物機能開発科学演習Ⅱ						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
		(63)		生物機能開発科学課題研究(研究指導) 応用生命科学特別講義 I 植物細胞育種学特論 生物資源環境学特論 IV						
専	教授	山本憲二 (62)	平成23年4月	生物機能開発科学演習 II 生物機能開発科学課題研究(研究指導)						
専	准教授	森 正之 (43)	平成21年4月	生物機能開発科学演習 II 生物機能開発科学課題研究(研究指導) 応用生命科学特別講義 I 植物遺伝子機能学特論 生物資源環境学特論 IV						
専	准教授	竹村美保 (42)	平成21年4月	生物機能開発科学演習 II 生物機能開発科学課題研究(研究指導) 応用生命科学特別講義 I 植物遺伝子機能学特論 生物資源環境学特論 IV						
専	准教授	大谷基泰 (48)	平成21年4月	生物機能開発科学演習 II 生物機能開発科学課題研究(研究指導) 応用生命科学特別講義 I 植物細胞育種学特論 生物資源環境学特論 IV						
専	准教授	濱田達朗 (38)	平成21年4月	生物機能開発科学演習 II 生物機能開発科学課題研究(研究指導) 応用生命科学特別講義 I 植物細胞育種学特論 生物資源環境学特論 IV						
専	准教授	片山高嶺 (38)	平成21年4月	生物機能開発科学演習 II 生物機能開発科学課題研究(研究指導) 応用生命科学特別講義 II 応用微生物学特論 生物資源環境学特論 IV						
専	助教	中谷内 修 (42)	平成21年4月	生物機能開発科学演習 II						
専	助教	南 博道 (35)	平成21年4月	生物機能開発科学演習 II						
兼任	教授	古賀博則 (57)	平成21年4月	生産科学特別講義 I 植物分子機能学特論 生物資源環境学特論 I						
兼任	教授	鈴木正一 (58)	平成21年4月	生産科学特別講義 I 植物分子機能学特論						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
				生物資源環境学特論 I						
兼担	教授	加納恭卓 (61)	平成21年4月	生産科学特別講義 I 植物生産機能調節論 生物資源環境学特論 I						
兼担	教授	石田元彦 (56)	平成21年4月	生産科学特別講義 II 動物資源特論 生物資源環境学特論 I						
兼担	教授	辻井 博 (67)	平成21年4月	生産科学特別講義 II 資源管理特論 生物資源環境学特論 I 生物資源環境地域ビジネス論 I						
兼担	教授	小林雅裕 (57)	平成21年4月	生産科学特別講義 II 資源管理特論 生物資源環境学特論 I						
兼担	准教授	関根政実 (48)	平成21年4月	生産科学特別講義 I 植物分子機能学特論 生物資源環境学特論 I						
兼担	准教授	中川博視 (46)	平成21年4月	生産科学特別講義 I 植物生産機能調節論 生物資源環境学特論 I	兼担	准教授	坂本知昭 (38)	平成23年4月	生産科学特別講義 I 植物生産機能調節論 生物資源環境学特論 I	平成23年4月 退職教員の補充(23) 平成23年1月教員審査済 平成22年3月 中川博視准教授辞任(22) 「後任未定」専任教員採用予定で公募中 各授業科目とも、他に担当教員が3~14名いるため支障はない。
兼担	准教授	福岡信之 (48)	平成21年4月	生物資源環境学特論 I						
兼担	准教授	宇佐川智也 (60)	平成21年4月	生産科学特別講義 II 動物資源特論 生物資源環境学特論 I						
兼担	講師	塚口直史 (39)	平成21年4月	植物生産機能調節論 生物資源環境学特論 I						
兼担	講師	池上礼子 (33)	平成21年4月	植物生産機能調節論 生物資源環境学特論 I	専	准教授	片山礼子 (池上礼子) (36)	平成23年4月	生産科学特別講義 I 植物生産機能調節論 生物資源環境学特論 I	平成23年4月 昇任(23) 平成23年1月教員審査済
兼担	講師	大角雅晴 (48)	平成21年4月	生産科学特別講義 II 資源管理特論 生物資源環境学特論 I	兼担	准教授	大角雅晴 (49)	平成22年4月	生産科学特別講義 II 資源管理特論 生物資源環境学特論 I	平成22年4月 昇任(22) 平成22年1月教員審査済
兼担	助教	榊田星史 (54)	平成21年4月	動物資源特論 生物資源環境学特論 I						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	高橋 強 (67)	平成21年4月	環境科学特別講義Ⅱ 地域環境システム学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						
兼担	教授	米林甲陽 (67)	平成21年4月	環境科学特別講義Ⅰ 環境分析学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						
兼担	教授	早瀬吉雄 (62)	平成21年4月	環境科学特別講義Ⅰ 環境科学特別講義Ⅱ 環境分析学特論 地域環境システム学特論 生物資源環境学特論Ⅱ 生物資源環境地域ビジネス論Ⅱ						
兼担	教授	菊沢喜八郎 (67)	平成21年4月	環境科学特別講義Ⅰ 生物環境保全学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						
兼担	教授	上田哲行 (59)	平成21年4月	環境科学特別講義Ⅰ 生物環境保全学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						
兼担	教授	村島和男 (62)	平成21年4月	環境科学特別講義Ⅱ 生産環境管理学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						
兼担	教授	青山咸康 (65)	平成21年4月	環境科学特別講義Ⅱ 生産環境管理学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						
兼担	教授	北村邦彦 (62)	平成21年4月	環境科学特別講義Ⅱ 地域環境システム学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						
					兼担	教授	柳井清治 (52)	平成22年4月	地域環境システム学特論 生物資源環境学特論Ⅱ	平成22年4月から 教育課程の充実を図るため担当教員を追加(21) 平成21年1月教員審査済
兼担	准教授	皆巳幸也 (43)	平成21年4月	環境科学特別講義Ⅰ 環境分析学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						
兼担	准教授	瀧本裕士 (40)	平成21年4月	環境科学特別講義Ⅱ 生産環境管理学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						
兼担	准教授	一恩英二 (47)	平成21年4月	環境科学特別講義Ⅱ 地域環境システム学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						
兼担	助教	田中栄爾	平成21年4月	環境科学特別講義Ⅰ	兼担	准教授	田中栄爾	平成22年4月	環境科学特別講義Ⅰ	平成22年4月 昇任(22)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
		(36)		生物環境保全学特論 生物資源環境学特論Ⅱ			(37)		生物環境保全学特論 生物資源環境学特論Ⅱ	平成22年1月教員審査済
兼担	助教	坂田寧代 (34)	平成21年4月	環境科学特別講義Ⅱ 生産環境管理学特論 生物資源環境学特論Ⅱ	兼担	准教授	坂田寧代 (35)	平成22年4月	環境科学特別講義Ⅱ 生産環境管理学特論 生物資源環境学特論Ⅱ	平成22年4月 昇任(22) 平成22年1月教員審査済
兼担	教授	田野信博 (64)	平成21年4月	環境科学特別講義Ⅱ 地域環境システム学特論 生物資源環境学特論Ⅱ						
兼担	教授	高月 紘 (67)	平成21年4月	応用生命科学特別講義Ⅱ 環境生物システム学特論 生物資源環境学特論Ⅳ						
兼担	講師	田知本正夫 (57)	平成21年4月	応用生命科学特別講義Ⅱ 環境生物システム学特論 生物資源環境学特論Ⅳ						
兼担	教授	大山莞爾 (69)	平成21年4月	応用生命科学特別講義Ⅰ 植物遺伝子機能学特論 生物資源環境学特論Ⅳ						
兼任	講師	田中一郎 (62)	平成21年4月	科学技術史 科学技術倫理						

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
20	1	21		21	0	21		
(20)	(1)	(21)	()	[1]	[Δ1]	[0]	[]	

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	助教	吉本玲子	一身上の都合
2	准教授	中川博視	一身上の都合
3			

(注) ・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生には、学生紊乱、シラバス、ウェブサイトなどにより周知している。
大学の所見は特になし。

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (20年10月)	<p>1. 「大学院の設置認可申請をした全大学共通の留意事項」設置の趣旨と目的が生かされるように設置計画を確実に履行すること。 また、学術理論及び応用を教授、研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるように努めること。</p> <p>2. 各領域にとって、どの科目が必修であるかを、例えば、選択必修などを設けるなどして明確にし、履修指導を行うこと。 また、科目主任を中心としたオムニバス講義について、内容の一貫性を着実に担保し、教育の質を確保するように努めること。</p>	<p>1. 設置申請書の内、基本計画書、教育課程の概要、授業科目の概要、設置の趣旨を記した書類及び留意事項を全教員に配布し、設置計画の履行をと教育研究水準を一層向上させることを強く促した。また、このことを研究科会議で強調し、各専攻会議で、専攻長中心に趣旨徹底を行った。(21)</p> <p>2. 博士後期課程においては該当なし</p>	

(注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<生物資源環境学研究科 自然人間共生科学専攻, 生物機能開発科学専攻(博士後期課程)>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で, 設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>i. 企画・調整委員会 規程添付</p> <p>ii. 自己点検・評価委員会 規程添付</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>i. 月1回 11名、 ii. 年6回 7名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>i. 将来構想、FD活動に関すること等 ii. 学生評価、自己点検評価書等</p> <p>② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FDに関する全学セミナー ・学生による授業評価 ・教育・研究計画書提出及び実績報告 ・教員相互の授業参観 ・教育者表彰 ・教育改善プロジェクト研究 以上は平成23年度の計画(学部では毎年行っている) <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー・授業参観は講義形式、評価はアンケート、教育研究計画報告は書類提出、表彰は推薦、プロジェクトは公募 <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー1回(40%)、授業参観15回(各数名)、計画報告各1回(全員)、アンケート前後期各1回、表彰・プロジェクト各1件 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの場合教員への結果の公表

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

・平成22年度に大学機関別認証評価を受け、基準を満たしている旨の評価を得た。当該評価において改善を要するとされた点については改善するよう検討中である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・公表済み

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、学内や関係機関に配布。
・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成22年度に評価機関の評価を受け、基準を満たしているとの評価を得た。

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成23年6月下旬)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(未定)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。